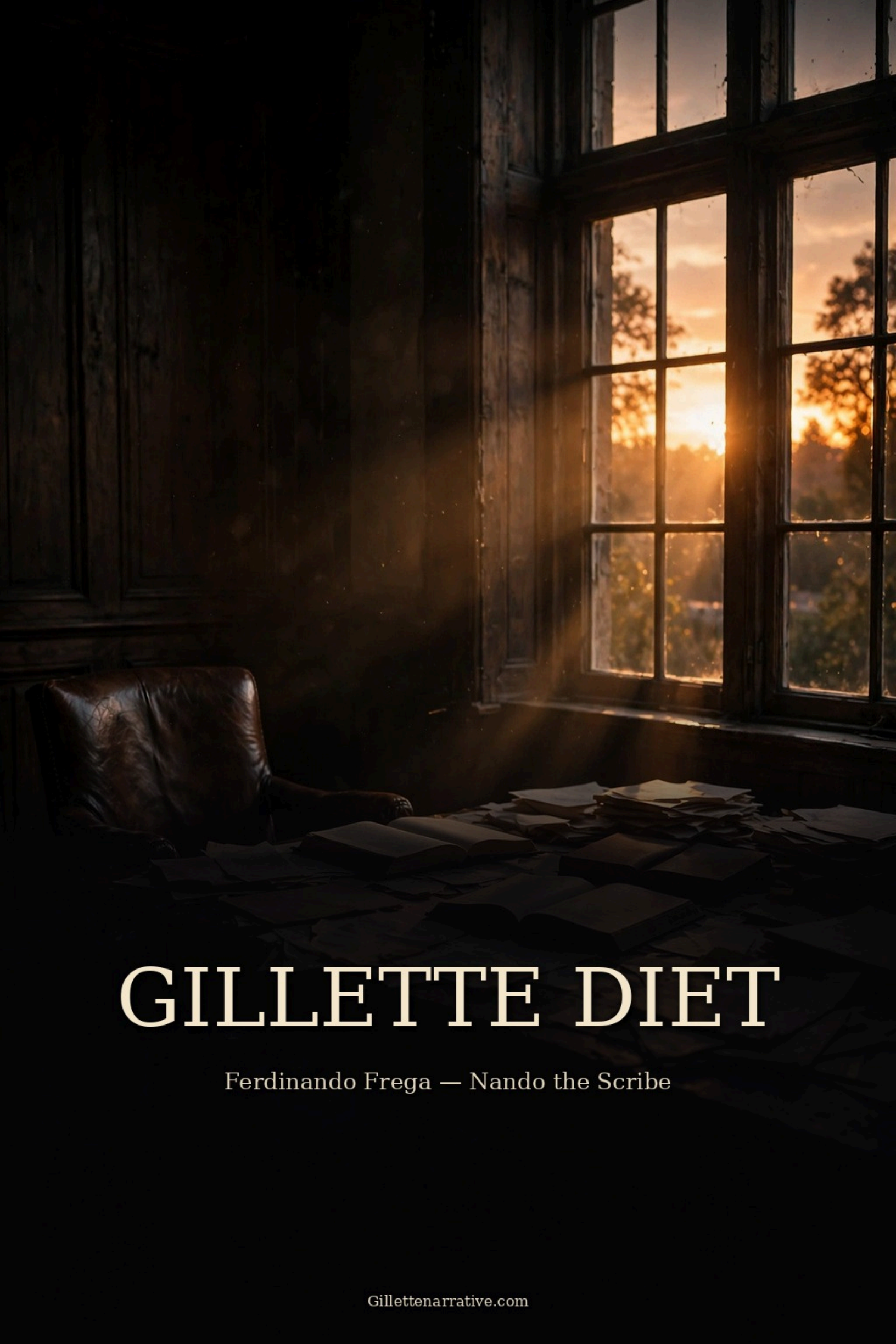




GILLETTE DIET

Ferdinando Frega — Nando the Scribe

GILLETTEのダイエット

タイトルにだまされてはいけない。Gilletteはダイエット商品など発売していない — 少なくとも、いまのところは。もっとも親会社のP&Gは、世界中の家庭にとって最も重要で欠かせないブランドのいくつかを抱え、すでに医薬品市場にも進出している。だが、それはまた別の話だ。

今日語るのは、原因から生まれた結果のことだ。

Gillettenarrativeでは、私が毎月いくらで暮らしているかを包み隠さず公表してきた — いまのところ、人間として爆発せずに済んでいる。気になる人は入って読めばいい。告白ではない — 事実だ。そしてその事実が、このあとのすべてを説明する。

人は他人に気に入られるためにダイエットをする。称賛されるために。やがて病気がやってきて、ダイエットは医療上の義務になる。そこで人任せにする — 栄養士、サプリメント、プロトコル、アプリ。金を使う。誰かが自分の体を救ってくれるのを待つ。わかっていない — あるいは、わかろうとしない。役者は最初からひとりしかいないのだ。自分自身である。決めるのは脳だ。医者ではない。アルゴリズムでもない。脳だ。

これは絶対の真実であり、自分で責任を引き受けるより誰かに金を払うほうを選ぶ何百万もの人々に、毎年何十億もの出費を強いている。

いっぽう私は、正反対の、もっと単純な理由で3か月の断食をしている。自分の本のアメリカでの著作権登録とISBNの取得に、有り金をすべて使ってしまったのだ。金をどこに置くかは私が選んだ。体はそれに従う。人任せはなし。医者もなし。あるのは水と、澄んだ頭と、人々がGillettenarrativeを読んでくれるのを待つ時間だけ — 考え、そしてできれば微笑んでくれるのを。

すでに20キロ痩せた。だが新しい読者を得た。無料の匂いは、その香りを失わない。

私の上司が決めた。私の上司とは、私の脳である。

そして私の脳は知っている。Gilletteが私の母だということを。

どういたしまして。

ナンド